

発行日 2026年3月5日



URBAN TIMES

「公正証書電子化(2025年10月開始)の最重要ポイント総まとめ」

日頃は弊社アーバンタイムスをご愛顧頂き誠に有り難う御座います。今回のアーバンタイムスでは2025年10月1日より開始した公正証書電子化について説明させていただきます。

2025年10月から、公正証書の作成・保管・交付が原則として電子化されました。紙の公正証書と同じ法的効力を持つ「電子公正証書」が導入され、オンラインでの手続きが可能になりました。

1. 電子化の主な内容

- ・原本は電子データ (PDF等) で作成・保管 電子署名・タイムスタンプ・暗号化により真正性を確保。
- ・オンライン手続きが可能に
 - Web会議での本人確認・意思確認
 - オンライン申請
 - 電子交付 (ダウンロード)
 - 紙での受け取りも選択可能
- ・対象文書はほぼすべての公正証書 遺言、金銭消費貸借契約、不動産関連契約、任意後見契約など。
- ・段階的導入 指定公証役場から順次開始。地域によって開始日が異なる。

2. 技術的特徴

- ・電子署名 (マイナンバーカード等)
- ・タイムスタンプ付与
- ・セキュアなクラウド管理
- ・改ざん検知機能
- ・証人も電子署名が可能

3. 利用者にとってのメリット

- ・移動不要・非対面で手続き可能 自宅・病院・遠隔地・海外からでも参加できる。
- ・手続きの迅速化 申請-交付までの時間が短縮。
- ・紛失・破損リスクの解消 電子データで安全に長期保管。
- ・コスト削減 郵送・交通費の削減、紙の管理コストも不要。
- ・透明性・信頼性の向上 改ざん防止技術により証明力が強化。

4. 課題・注意点

- ・デジタルデバイド 高齢者やITが苦手な人へのサポートが必要。
- ・セキュリティ確保 サイバー攻撃対策、システム安定性が重要。
- ・地域差 導入は公証役場ごとに異なるため、事前確認が必須。
- ・IT環境の準備 Web会議・電子署名に対応した端末が必要。

今後、公正証書は原則電子化され、オンラインで作成・確認・交付が可能になります。電子署名や改ざん防止技術により安全性が高まり、手続きの迅速化・コスト削減・利便性向上が期待されます。日本の契約・証明インフラが大きく進化する重要な制度改革です。

筆者 張ヶ谷

借りたいリスト(問い合わせ物件の一部)

*、先月の問い合わせ件数

65

用途	敷地	建物	地域	条件	入居日
工場(お菓子製造関連)	車両数台分	400坪	江東区湾岸地域	相場	即検討
倉庫(音楽イベント関連)	車両数台分	400坪	江東区湾岸地域	相場	即検討
倉庫(食品卸売関連)	車両数台分	200坪	江東区湾岸地域	相場	即検討
倉庫(自動車整備関連)	車両数台分	200坪	江東区湾岸地域	相場	即検討
倉庫(イベント関連)	車両数台分	200坪	都内湾岸地域	相場	即検討
駐車場(建機レンタル関連)	400坪位	-	江東区湾岸地域	相場	即検討
駐車場(運送関連)	300坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討
駐車場(運送関連)	200坪位	-	関東湾岸地域	相場	即検討
駐車場(宅配関連)	200坪位	-	江東区湾岸地域	相場	即検討
駐車場(ハイヤー関連)	200坪位	-	都内23区地域	相場	即検討

日本が直面している問題 その7 情報リテラシーの格差

リテラシーとは文字を読み、文字を書ける能力のことで、情報リテラシーとは「情報を読み取り、発信する能力」のことです。情報リテラシーは「メディアリテラシー」「ITリテラシー」「コンピューターリテラシー」などとは別の「情報源の中から情報を正しく読み取り、その信頼性を判断し、情報に基づいて意思決定を行う能力」のことです。SNSなどでフェイクニュースや誤情報が広がっていますが、その中から正しい情報を選び取る能力が大切になります。意図的なフェイクニュースは社会情勢も動かしてしまう可能性を持っているので、情報の正誤を見分ける能力が必要です。

情報リテラシーを身に着けるため、情報の発信元を確認する習慣を身に着けることが大切です。その情報は、ほかのメディアではどのように伝えられているか、その情報は信頼できる根拠や証拠があるか、日ごろから情報を確かめる努力が必要になります。

情報リテラシーが欠如していると、サイバー攻撃や詐欺などの被害にあって金銭的な損失や大事な個人情報の流出などの被害を受けることとなります。昨年もセキュリティーが完璧と思われていた大手企業の複数がサイバー攻撃に会い多大な損害を出してしまいました。原因は従業員のホームワーク用のパソコンからのウイルス感染が原因と言われています。個人個人のセキュリティー対策も大切になります。

管理物件のテナント紹介 第249回 株式会社 キッツ 様

株式会社キッツは、1951年創業の総合バルブメーカーで、東京証券取引所プライム市場に上場しています。本社は東京都港区にあり、バルブを中心とした流体制御機器の製造・販売を主力とし、水道・ガス・空調などの生活インフラから、石油・化学・半導体・医薬品などの産業分野まで幅広く支えています。特に強みは、素材開発・鋳造から加工、組立、検査までの一貫生産体制です。これにより、青銅・黄銅・ステンレス鋼・鋳鉄・鋳鋼など多彩な材質の9万点超の製品を多品種少量生産で実現し、高品質と信頼性を確保。1989年に日本企業初のISO9001認証取得で品質管理を確立。国内バルブ市場でトップシェア、世界トップクラスを誇り、グローバルネットワークと強固な販売網で安定した競争力を発揮しています。

◆江東区木場3-8-10 ◆2024年1月1日入居 ◆03-5568-9230 担当：坂除様